



令和 7 年 10 月 9 日
国 土 交 通 省
九 州 地 方 整 備 局

博多港アイランドシティコンテナターミナル
CNP 認証(コンテナターミナル) 認証書交付式を行います。

国土交通省港湾局が創設した制度「CNP 認証 (コンテナターミナル) ※」の運用が今年度 (令和 7 年度) より開始されています。今般「博多港アイランドシティコンテナターミナル」は、同制度に基づき「レベル 5 +」で認証されましたので、認証書の交付式を行います。

■開催日時

令和 7 年 10 月 16 日 (木) 11:00~

■開催場所

東福第二ビル 1F 101 号室 (福岡市博多区博多駅東 2-9-1)

■認証対象ターミナル

博多港アイランドシティコンテナターミナル

■CNP 認証レベル

レベル 5 +

■取組状況

- ・ 港湾脱炭素化推進計画の作成
- ・ インバータ制御方式のガントリークレーンの導入
- ・ 低・脱炭素型トランスファークレーンの導入
- ・ LED 照明の導入
- ・ 環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入
- ・ ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施

※CNP 認証 (コンテナターミナル) は、CNP (カーボンニュートラルポート) の形成の推進を目的とし、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取り組みを客観的に評価する認証制度です。詳細は下記 URL・左記 QR コードをご確認ください。https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr4_000088.html



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 TEL 092-418-3358 港湾計画課 小池、吉本

★ 取材のお申し込みは「別紙」を参照下さい。

「博多港アイランドシティコンテナターミナル CNP認証(コンテナターミナル)認証書交付式」

取材登録

※取材をご希望の場合は、事前に以下の記載事項を電子メールにて送付いただきますようお願いいたします

※当日は10:45までに会場へお越し下さい。受付は交付式会場内にございます。

※カメラ撮影は可能です。取材の際、報道機関名が確認できる取材者証(腕章)等の着用をお願いいたします。

【メール送信先】

mailbox-k89ea@mlit.go.jp

(国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 港政課 宛)

【メール件名】

(取材登録) CNP 認証 (コンテナターミナル) 認証書交付式

【記載事項】

1. 報道機関名
 2. 取材者(複数名の場合は代表者)
 - ①ご氏名、②ご役職、③取材人数
 3. 連絡先
 - ①電話番号
 - ②当日に連絡可能な携帯電話番号(3. ①と同じ場合は不要)
(メール本文に直接入力し、送付いただく形で問題ございません。)
- 申込締切: 令和7年10月14日(火) 12時

ご参考: 当日の式次第(10月16日 11:00~11:30)

1. 開式
2. 挨拶(九州地方整備局 副局長)
3. 認証書交付
4. 認証取得者ご挨拶(博多港ふ頭株式会社 様、福岡市 様)
5. 閉式

※閉式後、記念撮影を行います。

※次頁以降はご参考です。

令和7年9月25日

港湾局産業港湾課

CNP認証（コンテナターミナル）の**初**認証 ～コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組レベルを評価～

国土交通省港湾局では、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組を客観的に評価する認証制度「CNP認証（コンテナターミナル）」に基づき、申請のあった5つのターミナルに対して、本制度の創設後初となる認証を行いました。

CNP認証（コンテナターミナル）の更なる普及により、カーボンニュートラルの観点で荷主や船社等によるターミナルの選択が可能となることから、ポートセールスでの活用とともに、CNP形成に向けたターミナル間での競争を期待しています。

1. 「CNP認証（コンテナターミナル）」とは

- ・国土交通省では、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（CNP）の形成を推進しています。
- ・CNPの形成を推進する取組の一つとして、令和7年6月、コンテナターミナルにおける脱炭素化に向けた取組の実施状況をレベル1～5までの多段階で評価する認証制度「CNP認証（コンテナターミナル）」の運用を開始しました。

2. 初認証ターミナルの概要

令和7年6月30日（月）～令和7年7月4日（金）の期間に
申請を受け付けた以下5ターミナルを認証しました。

- | | |
|-----------------------|--------|
| ・博多港アイランドシティコンテナターミナル | レベル5＋ |
| ・川崎港コンテナターミナル | レベル4＋ |
| ・名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル | レベル3＋＋ |
| ・大阪港南港コンテナターミナル C-1/4 | レベル2＋ |
| ・高松港コンテナターミナル | レベル1 |

※認証レベルの上位順に記載

※詳細は別紙参照

※後日、所轄の地方整備局において認証書交付式を行いますので、別途お知らせします。

※認証ターミナルの情報についてはCNP認証ポータルサイト（下記QRコード）にて公表しております。

【問い合わせ先】 港湾局 産業港湾課 CNP推進室 末宗、富田
代表：03-5253-8111（内線：46-468）、03-5253-8672（直通）
メールアドレス：hqt-cnp-certificate@gbx.mlit.go.jp



港・ターミナル名	認証レベル	各レベル取得要件	ターミナルの 取組状況	推奨項目(+)の詳細
博多港 アイランドシティコンテナターミナル	レベル 5 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・L N G バンカリングへの対応
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率100%)	導入率100%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率100%)	導入率100%	
		・L E D 照明の導入 (導入率100%)	導入率100%	
		・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入	○	
		・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施	○	
川崎港 コンテナターミナル	レベル 4 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・低・脱炭素化された電力の導入
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率80%以上)	導入率100%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率80%以上)	導入率89%	
		・L E D 照明の導入 (導入率80%以上)	導入率47%(*1)	
		・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入	○	
		・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施	○	
名古屋港 鍋田ふ頭コンテナターミナル	レベル 3 + +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・電動トップリフターの導入 ・L N G バンカリングへの対応
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率50%以上)	導入率63%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率50%以上)	導入率75%	
		・L E D 照明の導入 (導入率50%以上)	導入率100%	
大阪港 南港コンテナターミナル C-1/4	レベル 2 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・カーボンオフセットの取組実施
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率10%以上)	導入率88%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率10%以上)	導入率74%	
		・L E D 照明の導入 (導入率10%以上)	導入率48%	
高松港 コンテナターミナル	レベル 1	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	-

(*1) ターミナルに再生可能エネルギー100%の脱炭素電力が導入されているため、要求事項を満たすものとして評価。

博多港アイランドシティコンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	取組内容
博多港ふ頭株式会社	電動式トランスファークレーンの導入（全26基）
博多港ふ頭株式会社、福岡市	ゲート受付システム（HiTS）の導入
福岡市	博多港港湾脱炭素化推進計画の策定
福岡市	インバーター制御方式のガントリークレーンの導入（全6基）
福岡市	ヤード照明のLED化（全10基）

[ターミナル概要]

2003年に供用を開始したアイランドシティコンテナターミナルは、総面積48.5ha、水深14m・15mの岸壁（総延長890m）を備え、大型コンテナ船の接岸にも対応し、博多港全体のコンテナ取扱量の約6割を担っています。

また、荷役機器としてインバーター制御方式のガントリークレーン（全6基）、CO₂排出量を大幅に削減できる電動式トランスファークレーン（全26基）を導入するとともに、ヤード照明のLED化（全10基）やゲート受付システム（博多港物流ITシステム“HiTS”）を活用したトレーラー待機・渋滞の緩和など、環境負荷の低減と効率化を両立する取り組みを推進しています。

福岡市が策定した「博多港港湾脱炭素化推進計画」に基づくこれらの取り組みを通じ、アイランドシティコンテナターミナルは港湾の脱炭素化に積極的に貢献し、カーボンニュートラルポート（CNP）の実現に向けた先進的な役割を果たしています。

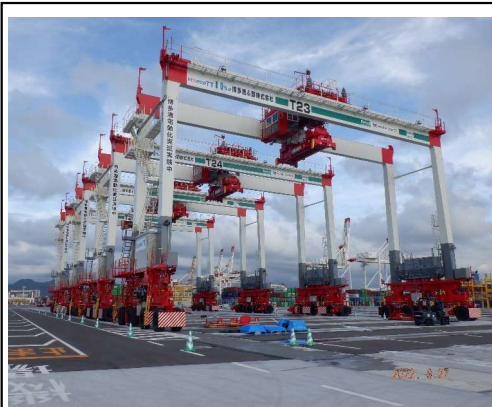


CNP Certification

認証レベル
Level 5+

(認証日 令和7年9月25日)

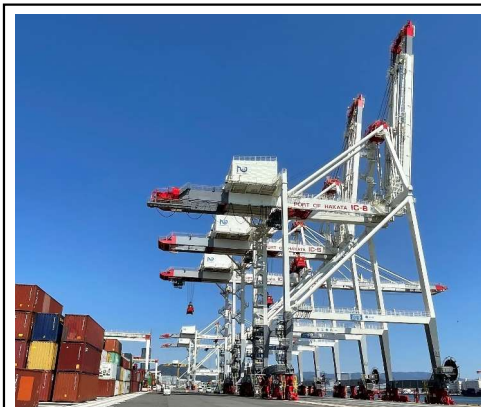
CO₂排出量原単位
8.00 kgs CO₂ / TEU



電動式トランスファークレーンの導入
（全26基）



ゲート受付システム導入による貨物
引き取り・引き渡しの効率化



インバーター制御方式のガントリークレーンの導入（全6基）



ヤード照明のLED化（全10基）